



# 小網代通信

発行：小網代ヨットクラブ  
〒238-0225  
神奈川県三浦市三崎町小網代  
1385-18  
編集：広報委員会  
編集長：里吉美恵子  
連絡先：office@koaziroyc.jp

Koaziroyc Yacht Club

2024年2月号 VOL-308

2024.2.10 発行

今月の内容		ページ
連絡事項	(編集委員).....	1
「デッキのDIY修理(サーモンフォー)」	(サーモンフォー 飯島 洋一).....	2
「2023年表彰式/新年会」	(編集委員).....	3
今後のイベント予定		
1月KFR	:2月18日(日) Eコース(10:25 予告 15:00 タイムリミット)	
KYC 定時総会	:2月19日(月) 19:00~20:30 (於:三田 駐健保会館にて)	
小網代フリート総会	:同日 18:30~18:50 (KYC 定時総会会場にて先に行われます)	
総務委員会	:2月26日(月) 19:00~ ハイブリッド(品川でリアル会議とZoom会議)で実施	

## 連絡事項

### 1. KYC 定時総会

2月19日(月) 三田 駐健保会館にて対面形式で開催します。

出欠及び議決事項に関しては、事務局に必ずご返信いただけますようお願いいたします。

今回の総会の審議/意見交換は、駐健保会館のみとなります。出席されますオーナー及び代表者の方は会場にお越しください。配布されております総会資料をご持参願います。会場での配布はございません。

また、クラブ会員の方にもクラブ運営に関心を持っていただくために、Zoomを使用して総会の様子を配信いたします。会員であれば、どなたでも視聴できます。なお、ネットの状況次第で配信を停止する可能性があることをご承知おきください。視聴案内は、2月号配信時にお知らせいたします。

### 2. 国際VHF無線活用のおすすめ

小網代ヨットクラブでは、「国際VHF無線」の利用を推奨しています。船舶専用の無線で、最も有力かつ確実な通信手段です。非常時の通信や緊急通報手段として大変有効なものです。運用には、個人の無線従事者免許と艇の船舶局免許(艇のコールサイン)が必要です。海に出るなら、安全安心のために是非とも「国際VHF無線」を活用してください。詳しい案内は、ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。



3. 1月KFRは荒天のため中止となり、レース後に予定されておりました新年会は、開催時間を早めて13時からとし、2023年度KFRの後期と年間の表彰式、併せて本年度コミティの抽選会を行いました。クラブハウス2階には、50人以上の方が集まり、今年こそは外来艇に負けるなと小網代メンバーは気合を入れていました。3ページに写真掲載。

4. 2月総務委員会の開催日を変更いたしました。定時総会と重なりましたため、2月26日(月)品川で行います。

## デッキの DIY 修理 (サーモンフォー)

サーモンフォー 飯島洋一

SalmonFour は 1993 年進水で船齢 31 才になります。船体とデッキはほぼ全てがバルサコアのサンドイッチ構造の FRP 艇で、J ポート社製です。軽くて強い艇なのですが、バルサコア材に水が入り、コア材が腐むと問題です。上部構造物の通しボルトや、何かを酷くぶつけた際に見えるクラックなどには注意が必要です。

バルサコアの修繕は理論的には単純です。表面の FRP を切除し、傷んだバルサコアを取り除きます。バルサコア代替のコア材を入れて表面の FRP を積層すれば修復完了です。作業内容は単純ですが、問題なのは場所です。



今回の修繕箇所はパウデッキです。セルフドレン隔壁より前側だったので、艇内の作業空間が確保できず、デッキ上からの修理です。

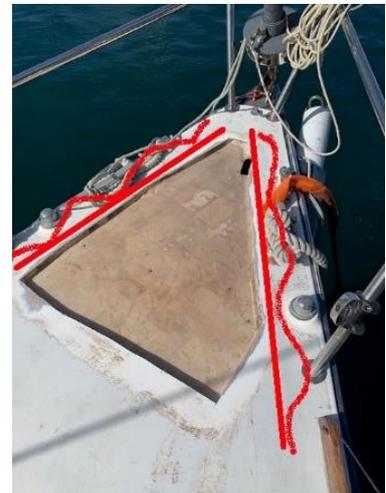
デッキのフカフカしている箇所の FRP を少しずつ切除し、水の侵入経路を探りながら傷んだ部位の切除範囲を広げます。

水の侵入経路は想像通り、スルーデッキのターニングブロック部分でした。

(写真左 青丸)

傷んだバルサを取り除き、FRP を乾燥・サンディングして積層に備えます。

写真右側の赤線部分は FRP 単板構造なので、それより外側には水がまわりません。



下地処理が終わったところで、FRP を 1 層積層します。その次は代替のコア材を積層。さらにその上から FRP を 3 層積層しました。ポリパテで凹凸を無くし、既存デッキとの高さを合わせてサンディング。最後は塗装して完成です。

既存デッキの FRP を数ミリ削り、修復した部分とオーバーラップさせて積層仕上げをします。見えるところなので、高さ調整や平滑を出すことに時間を掛けました。最後は塗装して元通りです。



真空状態にする積層ではないので、ガラスマット間に空気が入らないように範囲を狭く丁寧に積層することが肝心のようです。艇の内側から積層できれば高さ調整など見た目の仕上げの工程がないので、もう少し早く完成できますしサンダーで削った粉を吸い込む心配も減ります。老婆にはお化粧を施したい箇所があちこちに点在しています。今年も艇内泊でのんびりと作業していこうと思っています。

艇を 2 月に上架する予定なので、その間にテンダーの FRP 修理・塗装をしようか思案中です。

## 2023年表彰式／新年会 2024年1月21日(日) クラブハウス2階



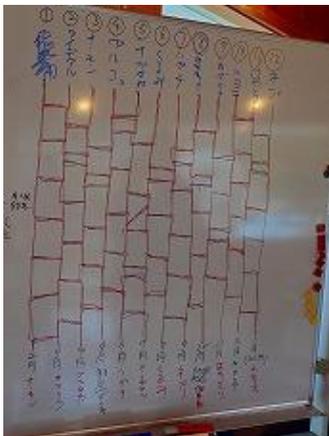
小池レース委員長の挨拶で始まりました！！



総合優勝のトロフィーと後期優勝の盾



贈呈品の品々



コミティ抽選のあみだくじ



表彰された艇の皆様